

2007 年度第 6 回理事会 (文書審議理事会) 議事録

1. 開催期間: 2008 年 1 月 28 日 (月)～
2 月 8 日 (金)
2. 審議参加者: 藤井理行, 成田秀明, 力石國男,
山田知充, 佐藤篤司, 東 信彦,
足立俊三, 井形和彦, 上田保司,
遠藤八十一, 加治屋安彦,
川田邦夫, 水津重雄, 角川咲江,
竹内 望, 西村浩一, 沼澤喜一,
本堂武夫, 山崎 剛, 横山宏太郎

3. 審議事項

第 1 号議案 2008 (H20) 年度雪氷研究東京大会
実施計画案について

趣旨: (社)日本雪氷学会並びに日本雪工学会は,
2008 (H20) 年度の研究発表大会を同一週間, 同一
会場 (東京大学) にて協力して開催する方針を承
認しました。

これを受けて, 両学会の次年度大会関係者は,
成田秀明 (社)日本雪氷学会副会長・関東以西支
部長を大会委員長として, 「2008 (H20) 年度雪氷
研究東京大会合同幹事会」を構成し, 実施計画に
ついて鋭意検討を進めてこられました。

その中で作成された「2008 (H20) 年度雪氷研究

東京大会の趣意書」(添付資料 4) を理事の皆様方
にご覧いただき, ご意見を求めておりましたが,
これまで特段のご意見はありませんでした。そこ
で, 合同幹事会では上記趣意書に基づいた実施計
画案を作成され, このほど提案のはこびとなりました。

提案: 両学会のこれまでの大会運営には相違点も
多かったため, 連携開催からさらに進んで合同大
会の実をあげようとすれば, 問題点の整理とそれ
を改善した実施案の作成に強い意欲と多大な労力
を要することは想像に難くありません。それを克
服して画期的な実施計画案を作成された合同幹事
会に敬意を表しつつ, ここに「2008 (H20) 年度
雪氷研究東京大会実施計画案」(添付資料 1, 2 お
よび 3) を提案いたします。

審議結果: 賛成 20, 反対 0 で, 2008 (H20) 年度雪
氷研究東京大会実施計画案が承認された。

添付資料:

1. 大会日程案
2. 予稿集 Format 案
3. 会場案内図
4. 2008 (H20) 年度雪氷研究東京大会の趣意書

2007 年度第 7 回理事会議事録

1. 開催期間: 2007 年 3 月 12 日 (水)
13 時 00 分～17 時 45 分
2. 開催場所: 日本化学会館・601A 室
3. 出席者: 藤井理行, 成田秀明, 力石國男,
山田知充, 佐藤篤司, 足立俊三,
井形和彦, 遠藤八十一,
加治屋安彦, 川田邦夫, 水津重雄,
角川咲江, 竹内 望, 西村浩一,
沼澤喜一, 山崎 剛, 横山宏太郎
(委任状出席者):
東 信彦, 上田保司, 本堂武夫

(オブザーバー): 成瀬廉二, 三橋博巳

4. 議 事

1) 「開会」

西村理事 (総務委員長) が定款 27 条に基づ
き理事会の成立を確認し, 議事録署名人とし
て竹内理事 (財務委員長) と西村理事 (総務
委員長) を指名した後, 藤井会長が議長とな
り議事が進行された。

2) 2008 年度事業計画・収支予算案の承認に ついて

横山理事 (事業委員長) より資料 1-1 に基

づいて 2008 年度事業計画 (案) の説明があり, 原案通り承認された。

竹内理事 (財務委員長) より資料 1-2-1 に基づき, 2008 年度収支予算書 (案) の説明があり, 原案通り承認された。近年の緊縮財政を反映して学会全体の事業規模が縮小傾向にあることに加え, 出版物の電子化など新たな要因もあるが, 公益法人認定基準をクリアするため, 事業費比率を 1/2 以上に保つ努力が必要であることが説明された。

3) 2008 年度井上フィールド科学研究基金助成対象者について

横山理事 (井上フィールド科学研究基金運用委員長) より, 資料 2 に基づき, 2008 年度井上フィールド基金助成として, 2 件の研究課題 (2 名) を選考した旨の説明があり承認された。

また, 締め切り後に応募があった 1 件については, 次年度助成対象者としていた旨の説明があったが, 研究遂行時期が 2007 年度であること, また当該年度の助成が 1 件に留まっていることに鑑み, 2007 年度の追加助成とする提案があり了承された。

4) 支部・分科会活動支援基金への繰り入れについて

竹内理事 (財務委員長) より, 資料 3 に基づき, 支部・分科会活動支援基金へ, 2007 年度末に学会全体で 482 万円の繰り入れを, また, 2008 年度初めに 139 万円の取り崩しを予定していることが説明され承認された。財政状況を反映して事業規模が縮小傾向であるが, 2007 年度は国際シンポジウム, 全国大会等の収支の黒字により基金への繰り入れ額が増大したため, 学会の事業強化を図る必要性について説明があった。

5) 基本財産の運用について

竹内理事 (財務委員長) より, 資料 1-2-2 に基づき, 2008 年 11 月に満期償還の予定である平成 10 年京都市債 (1,100 万) の運用については, 引き続き国債・公債等の購入を検討したい旨説明があり了承された。

6) 全国大会における雪工学会との連携について

成田理事 (副会長・雪氷東京大会実行委員

長) より東京大会の準備状況について説明があった後, 横山理事 (事業委員長) より, 資料 4 に基づき説明があった。東京大会に関しては, 実行委員会で意欲的な実施案が作成され, 理事会で承認されたが, それと平行して, 連携開催を当面の規定方針とした学会としての協議組織「雪氷研究大会運営協議会」を発足し, 合意事項を策定, 提示していくことが提案され, 承認された。

7) J-STAGE における雪氷学会・雪工学会合同大会サーバの構築について

水津理事 (電子情報委員長) より, 資料 5 に基づき, 雪氷研究大会 (2008・東京) では, 合同大会を一つの予稿集として公開し, 雪氷学会, 雪工学会それぞれの Web サイトからもリンクできるようにするため, 新たに合同サーバを構築することが提案され承認された。

8) 雪氷学会ホームページから賛助会員へのリンクの構築について

水津理事 (電子情報委員長) より, 資料 6 に基づき, 雪氷学会ホームページから賛助会員へのリンクの構築について提案があり承認された。

9) 公開シンポジウム「雪氷楽会 in 東京」について

角川理事 (広報委員長) より, 資料 7 に基づき, 会員増活動の一環として, 雪氷楽会 (開催地: 東京大学) において, 全国科学博物館協議会の協力を得ながら, 関東地域の科学館への参加の呼びかけをしたい旨の提案があり承認された。

また, 科学館・図書館を想定した巡回・貸出し用展示キットの試作をしたい旨の提案があり承認された。

10) 吹雪研究会の分科会移行について

西村理事 (総務委員長) より資料 8 に基づき説明があり, 「吹雪研究会」の「吹雪分科会」への移行が承認された。

11) 日本雪氷学会賞受賞者選定規程の一部変更について

佐藤理事 (学術委員長) より, 資料 9 に基づき説明があり, 日本雪氷学会賞受賞者選定規程 (3), (4), (5) の一部変更が提案され,

承認された。

- 12) 井上フィールド科学研究基金運用について
横山理事（井上フィールド科学研究基金運用委員長）より、資料 10 に基づき説明があり、「正会員に対して助成する」となっているところを、非会員による応募の場合でも、助成が決定して「活動開始前に入会すれば」適用できる運用方法が提案され、承認された。

- 13) 「積雪観測ガイドブック（仮称）」の発行について

横山理事（事業委員長）より、資料 11 に基づき、「積雪観測ガイドブック（仮称）」の発行について提案があり、原案通りに承認された。

- 14) 男女共同参画担当理事について

西村理事（総務委員長）より、資料 12 に基づき説明があり、男女共同参画理事の選出について提案があり総務委員長を担当理事とすることが承認された。

- 15) 日本雪氷学会職員任用内規の一部変更について

西村理事（総務委員長）より、資料 13 に基づき説明があり、日本雪氷学会職員任用内規の改訂が提案され承認された。

- 16) 事務職員の雇用と給与について

事務職員 2 名の次年度の再雇用と給与の改定が提案され承認された。

5. 報告事項

- 1) 2007 年度第 5 回理事会（文書審議理事会）並びに 2007 年度第 6 回理事会（文書審議理事会）結果報告

西村理事（総務委員長）より、資料 14 に基づき、2007 年度第 5 回理事会（文書審議理事会）並びに 2007 年度第 6 回理事会（文書審議理事会）結果について報告がされた。

- 2) 2007 年度全国大会（富山）事業報告並びに監査報告について

成瀬監事より、資料 15 に基づき、2007 年度全国大会（富山）収支決算書と証憑類は適正なものであった旨が報告された。

- 3) IWAIS2007（構造物への大気着氷に関する国際ワークショップ）について

横山理事（事業委員長）より、資料 16 に基

づき、IWAIS（構造物への大気着氷に関する国際ワークショップ）の概要について報告がされた。成瀬監事より、収支決算書と証憑類は適正なものであった旨が報告された。

- 4) 第 18 回雪崩対策の基礎技術研修会事業報告並びに監査報告について

横山理事（事業委員長）より、資料 17 に基づき、第 18 回雪崩対策の基礎技術研修会の開催報告がなされた。また、成瀬監事より、収支決算書と証憑類が適正なものであった旨が報告された。

- 5) 日本地球惑星科学連合 2008 大会について

西村理事（総務委員長）より、資料 18 に基づいて 2008 年連合大会プログラム案について説明があった。大会期間中に開催予定である日本雪氷学会通常総会と理事会は、5 月 29 日（木）開催という方針のもと調整中であることが報告された。

- 6) 日本地球惑星科学連合における「大学および大学院教育小委員会」の設置について

西村理事（総務委員長）より、資料 19 に基づき、日本地球惑星科学連合における「大学および大学院教育小委員会」の設置について報告された。

- 7) 第 19 回雪崩対策の基礎技術研修会について

西村理事（雪崩分科会長）より、第 19 回雪崩対策の基礎技術研修会は、戸隠方面での開催も含め検討を進めている旨の説明があった。

- 8) 終身会員の報告について

西村理事（総務委員長）より、2008 年 4 月より 9 名の正会員が終身会員に種別変更となる予定であることが報告された。

- 9) 公益法人制度改革の現況について

西村理事（総務委員長）より、資料 21 に基づき、公益法人制度改革に伴う公益社団法人への移行手続きについて説明があった。最近の日本学術会議からのアンケート調査等、現況の報告が行われた他、今後も移行に向けた検討を進めていくことが了承された。

添付資料

- 資料 1-1 社団法人日本雪氷学会 2008 年度事業計画 (案)
- 資料 1-2-1 2008 年度収支予算書 (案)
- 資料 1-2-2 基本財産運用収入
- 資料 2 井上フィールド科学研究基金による研究活動の助成対象選考結果
- 資料 3 雪氷学会支部・分科会活動支援基金 2007 年度繰り入れ・2008 年度取り崩しについて
- 資料 4 日本雪氷学会と日本雪工学会の全国大会に関する連携について
- 資料 5 J-STAGE における雪氷学会・雪工学会合同大会のサーバー構築
- 資料 6 雪氷学会ホームページから賛助会員へのリンクの構築
- 資料 7 会員増活動について
- 資料 8 「吹雪分科会」設立趣意書
- 資料 9 日本雪氷学会賞受賞者選定規程 改正案
- 資料10 井上フィールド科学研究基金の運用について
- 資料11 積雪観測ガイドブック (仮称) の発行について
- 資料12 男女共同参画担当理事の選出について提案
- 資料13 日本雪氷学会職員任用内規 (案)
- 資料14 2007 年度第 5 回理事会 (文書審議理事会) 議事録/2007 年度第 6 回理事会 (文書審議理事会) 議事録 (案)
- 資料15 平成 19 年度雪氷研究富山大会決算書
- 資料16 第 12 回構造物の大気着氷に関する国際ワークショップ (IWAIS2007) 開催の概要 2007 年度日本雪氷学会第 12 回 IWAIS 決算書 (案)
- 資料17 第 18 回雪崩対策の基礎技術研修会収支報告書/同ご案内
- 資料18 2008 年地球惑星科学連合大会プログラム案
- 資料19 「大学および大学院教育小委員会」の設置について
- 資料20 東京大会予算案
- 資料21 公益法人制度改革の概要/文部科学省主催 第 1 回「公益法人制度改革説明会」報告